

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ライズ児童デイサービス 蒔田駅前		
○保護者評価実施期間	2025年 10 月 1 日		～ 2025年 10 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年 10 月 1 日		～ 2025年 10 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2 月 15 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日更新しているブログや日々の連絡帳で、子どもの状況を知ることができる点に満足していただいている。	・ブログでは、写真掲載の許可がある利用者ではできるだけ全員写真を載せられるように意識している。	利用者本人が保護者に様子を伝えることが難しいことも多いため、今後もブログや連絡帳を通して状況を伝えていく。
2	日々の支援に関してやヒヤリハット、気付いた点など、情報の記録をしっかりとっている。	・毎日朝礼や終礼を必ず行っており、職員間で情報共有する仕組みが固定化できている。 ・気付いたことは申し送りノートやヒヤリハット報告書などに記録し、職員はいつでも見られる仕組みが出来ている。	共有するのみで終わらないよう、振り返りやフィードバックもセットでできるような環境を整える。
3	保護者との情報伝達方法や情報の発信について。	・情報の内容によって、送迎時に直接お伝えしたり、電話やメールを用いてお伝えしたりと使い分けている。 ・行事予定は文字だけでなくイラストを用いるなどして、楽しさが伝わるように発信している。	連絡手段が固定化されていない分、情報が混乱しないよう職員間での情報共有の意識は継続していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	その日の利用者によっては、安全を確保できるような十分なスペースの確保が難しい。 また、クールダウンするのに適した場所がない。	静養室や事務所に物がたくさんある。	・整理整頓をして限られたスペースを有効活用していく。 ・活動内容に応じてケンステップやマットの色等、視覚的に理解しやすい物を利用して、スペースの使う場所や使い方の工夫をする。
2	地域との交流や外部機関との連携・共有する機会が少ない。	地域活動の情報を把握できていない。 保護者からのニーズがあまりない。	・関連機関の情報を取り入れ、関係構築をしていく。 ・外部との交流についての保護者のニーズを把握する。 ・双方の利用者が安全に楽しめる計画を立てる。
3	外出プログラムや調理プログラムは幅広く取り組んでいるが、日々の活動プログラムはあまり幅が無い。	利用日数の多い児童は何度か同じプログラムになってしまう事がある。	・月ごとでプログラムを変えたり、組み方を工夫するなどしているため、その点については今後も継続して行う。 ・同じプログラムでも少しルールを変えるなどして、利用者が楽しめるプログラムにする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ライズ児童デイサービス時田駅前

公表日 2026年3月15日

利用児童数 28

回収数 18

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	4	0	1	開けたスペースで活動が出来ていると思う。大きい子がたくさんいると狭く感じそう。	活動に応じて、使う場所や使い方に配慮しております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	3	0	2	配置数は分からないが、事故なく過している。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされていますか。	9	5	1	3	施設に行くまでが階段があるため「いいえ」。	
適切 な 支 援 の 提 供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、放課後等デイサービス計画が作成されていますか。	17	1	0	0	様々なレクを行ってもらっている。面談時にお互い情報共有を行えている。	子どもたちや保護者様のご意見も参考に、今後も計画を作成してまいります。
	5 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	2	0	2	休みの日にはおやつレクやご飯レクがあって、参加させてもらっている。	今後も子どもが楽しめるレクを考案、計画し行っていきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	4	6	4	外部との交流はないが、希望はないためこのままでいい。	保護者様のニーズも確認しながら、検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	7 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0	丁寧に説明をしてもらった。	今後も継続して、丁寧な説明を心がけてまいります。
	8 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	17	0	1	0	連絡帳や送迎時に情報共有が出来ている。伝えているが共通理解という面では足りないかと思う。	職員内での連携を強化し、共通理解の意識をより高めていきます。
	9 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	0	1	1	送迎時や面談時に何かあれば話を聞いてもらっている。	今後も引き続き、些細なことでも相談していただければと思います。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。	7	4	3	4	学校でもあるため、あまり必要としていない。タイミングが合えば参加したい。	様々な形で支援ができるよう検討、計画を継続していきます。
	11 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2	0	3	すぐにメールで聞くことができる。	相談や申し入れがございましたら、メールやお電話でお受けできますので、ご連絡ください。
	12 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1	0	1	メールだと写真が送れるからありがたい。	メールでも電話でもお受けできますので、内容によって使い分けいただければと思います。
	13 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	0	0	0	毎回ブログで写真が見れて分かりやすい。連絡帳で様子を知ることができる。	今後も日々の活動をブログや連絡帳で発信していきます。
14 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	1	何かと個人情報だと過剰に気を付けすぎている感じがする。	今後も引き続き、個人情報の取扱いには注意してまいります。	
非 常 時 等 の 対 応	15 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	2	1	4	避難訓練はあるがどんなルートか等聞けば答えてくれるだろうが何も知らない。	実施した際の周知方法を検討していきます。
	16 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	2	0	4	避難訓練は行われていた。	
満 足 度	17 こどもは安心感をもって通所していますか。	15	3	0	0	嫌がることなく通っているため、安心感を持っていると思う。	今後も子どもたちが安心感を持って通うことができるよう、努めていきます。
	18 こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	4	0	1	帰ってきたあとの笑顔を見ると楽しんでいるのだと思う。	子どもたちが安心して楽しく過ごせる環境作りをしてまいります。

19	事業所の支援に満足していますか。	15	3	0	0	いつもありがとうございます。	今後も皆様に満足していただける支援に取り組んでまいります。
----	------------------	----	---	---	---	----------------	-------------------------------

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ライズ児童デイサービス時田駅前			公表日		2026年 3月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	6		おもちゃを広げると手狭である。クールダウン等の個別のスペースがない。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		1	6		送迎に関わる職員が不足気味である。レクの際は職員が足りないことがある。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		2	5	イラストカードを用いている。	パーティーの足が廊下に出ており、躓きやすい。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		3	4	毎日掃除を行って清潔に保たれている。壁が綺麗になった。	運動プログラムなどの際にスペースが狭い。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		3	4	静養室や事務所で個別になることができる。	クールダウンのための個別のスペースが無いため、事務所等になってしまう。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	何かあった際は振り返り、全職員に共有している。会議を行っており、話し合いをする場がある。	振り返りやフィードバックが不十分である。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	保護者からの意向についてどのように実現するか考えている。結果を受け取った際に話し合いもしている。	実施はしているが、業務改善までにはいっていない。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	店舗会議等でそれぞれ意見を出し合って話している。	上と同様に、業務改善までに至らないことがある。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	外部評価が行われた際には、振り返って業務改善につなげられている。	外部評価が行われる機会がほとんどない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	月に一回研修の機会が設けられている。	研修は受けているが対象が成人相手のことが多く、現場に置き換えが難しい。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	4	作成されたものは公表され、全体に共有されている。	プログラムが改善中である。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1	保護者からのニーズをもとに作成されている。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	2	職員全員が目を通し、話し合いをもとに方向性を決めている。	現状不十分である。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	3	計画は全職員が見られるようになっており、共有されている。	計画に沿った支援は不十分であるように感じる。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	児童に応じて併用利用している店舗と連携を取り、残すようにしている。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	4	ご飯レクなどお金をいただくプログラムについては特に話し合っている。	現状不十分であるため、チームで行っていきけるよう調整している最中である。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	1	5	色々な活動ができるように、レクの組み方は工夫している。	プログラムの幅があまりない。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	3	保護者のニーズをもとにした個別活動を設定している。	支援は集団活動が多くなっている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	朝礼時に必ず確認が出来る。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	毎日終礼時に確認をして、共有が出来る。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	気付いた点については記録として残し、いつでも振り返りができるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	児発管が行っている。 店舗会議で共有している。	行ってはいるものの、遅れていることがある。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3	1	意識した支援は行っている。	地域交流が少なく、全員にその支援は行えていない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	2	イラストカードなどを用いて、日々自己決定が行えるようにしている。	以前よりも機会が減ってしまっているように感じる。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	開催された際は、児発管が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	2		どのくらい連携できているか、よく知らない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2	それぞれの学校のやり方で情報共有が出来る。	学校側からの共有はあまりなく、保護者からの共有に頼っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3		保護者から情報を得ている。 直接の情報共有はない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	2		保護者を通じての情報共有になっている。 直接の情報共有はしていない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2		連携は出来ていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		外部との関わりはほとんどない。 子ども同士の交流となると、保護者側がそれを求めているか不明。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	タイミングが合えば参加するようにしている。	人員不足により、参加できないことがある。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	帰りの送迎時や連絡帳にて、当日の様子や気付いたことを共有しあえている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3		家族支援プログラムは不十分である。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に説明をしている。 主に管理者や児発管が行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	面談などで家族の意向は確認をしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	契約時に説明をしている。 主に管理者や児発管が行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	2	相談があれば対応をしている。	送迎時に少し話を聞く程度になってしまうことが多い。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	行える頻度が少ない。	開催しようとアンケートを取ったが、今の利用者にはあまりニーズがなかった。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	管理者にまずは共有し、その後全職員にも共有される。迅速に行うような仕組みを作っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	ブログに写真を載せて、活動概要を伝えている。レクの呼びかけは毎月発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1	ブログの写真等は複数人で確認している。研修等でも上がることの多い話題であるため、気を付けている。	再度見直した方が良い。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	口頭だけではなく、内容や保護者によっては文字に残すなどの配慮をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		地域との交流はない。現状できていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	2		再構築し、直している最中である。周知は不十分である。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	避難訓練を定期的実施している。防災グッズは定期的に確認し、期限を見直している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	放課後の利用時は、学校にその日の状況を確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	食物アレルギーの確認は保護者を通じて出来ている。	医師の指示書を提示してくれている数が少ない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	3		安全管理に関する研修は不十分である。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	3		周知は不十分である。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2	ヒヤリハットがあれば文面として残し、全職員がすぐに見られるようになっている。	再発防止に向けた検討が不十分である。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	管理者、児発管が研修に参加していた。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	2	やむを得ず身体拘束を行った際は、時間や状況の説明を保護者に伝えている。		